



録画映像は  
こちらから

議第7号 令和8年度袋井市一般会計について

**反対** 高橋美博 議員  
(無会派)

施設などに出向いて申請補助を行い、マイナンバーカードの交付を進めるということであるが、そもそもマイナンバーカードの取得は任意であり、強要すべきではない。高齢者については管理が難しく利用率が低い状況となっており、施設などを訪問しての推進は行き過ぎであり、予算の無駄遣いであると考えことから反対する。

**賛成** 村松和幸 議員  
(緑風会)

本市では、窓口に来られない方のため、委託業務の範囲を広げ、自宅や入所施設、病院へ申請の補助に伺うことも行っており、多様なカードの申請機会の創出にも幅広く対応し、制度やその機能に対する説明、マイナンバーカードを持つことへの不安などの質問にも親切丁寧に対応されており、マイナンバーカードに関する取組について賛成する。

議第8号 令和8年度袋井市国民健康保険特別会計予算について

**反対** 高橋美博 議員  
(無会派)

国は「現役世代の負担軽減」を掲げながら、国民健康保険を含む全ての医療保険料に子ども・子育て支援金を上乗せして徴収するとしたが、子育て支援を本気で強化するのであれば国庫負担で対応すべきである。医療保険料を少子化対策に流用すること自体、疾病や高齢などの健康リスクに備えるという公的医療保険制度の目的から大きく逸脱していると考えことから反対する。

**賛成** 村松和幸 議員  
(緑風会)

全世代型社会保障の整備の一環として、少子化対策に資する子ども・子育て支援金制度の財源の一部を確保するため、国民健康保険などの医療保険料に支援金を上乗せして徴収し、子どもや子育て世帯を社会全体で支えていくことで、国民皆保険制度の持続可能性を図ることとしている。支援金の徴収が開始される一方で、基金を有効に活用することにより、医療給付費分などの従来の保険税については引上げなどによる被保険者の負担を強いることなく、健全な予算編成がなされていると考えことから賛成する。

※発言順で掲載しています。

※上記内容については、討論の対象となった議案の中から、一部を抜粋しています。

市議会議員と話そう 高校生との意見交換会

若い世代の意見を聞き、まちづくりの参考にすることや議会に関心を持ってもらうことを目的に、市議会議員と高校生の意見交換会を行いました。グループワークで出された若者たちの思いや柔軟な発想を今後の施策に反映できるよう、議会活動に努めてまいります。

【意見交換のテーマといただいた意見の一部】

袋井商業高等学校

1月9日開催

テーマ 袋井をもっと“推せる街”にするには？

◇袋井の魅力的なところは？

- ・エコパやさわかアリーナなどの体育館がある。さわやかアリーナは新しくいろいろなイベントが行われている。
- ・住みやすく、平和である。地域の方が優しい。

◇袋井のもっとがんばりたいところは？

- ・中高生や若者が遊ぶ場所を増やしてほしい。
- ・公共交通機関、特にバスを充実させてほしい。車がないと不便。

◇袋井をもっと推せる街にするためには？

- ・小学校・中学校・高校を通じて袋井市の良いところを見つける探究授業を取り入れる。
- ・ごみ拾いの日を設けて、拾ったごみの重さでポイントがたまる仕組みをつくる。
- ・袋井市内のイベントを増やして、ボランティアやイベント活動に参加する。

